

こんにちは！ 石田地区子連 です

～石子連今昔～ 22年前石田小学校開校と同時に発足し、石田小学校区内に住む子どもたちが所属しています。数年前まで複数あった単子（単位子ども会）ですが、少子化、生活様式の変化、子どもの活動の場の多様化、また子ども会運営にあたり役員を引き受け手不足によりやむなく休会、退会を選択されるなどして現在は2単子になってしまいました。



↑:ロータリー祭り準備会の様子

～メイン活動は三つ～ 複数の単子があった頃は石子連主催イベント（全単子対抗ゲーム大会や陶芸講習会）を年に2回開催していましたが、現在は『愛甲石田駅南口ロータリー祭り（毎年5月開催、ここ数年はコロナで中止）』に単子所属の高学年生とゲームコーナーを出店、地域の方々と子どもたちとのつながりを深める役割をしています（写真左）。二つ目は単子から要請があった時可能な範囲でお手伝い（先のページで紹介）。三つ目は成瀬小子連役員の皆さんのお手伝いとして公民館まつり（2月）に参加させていただいています。



～石子連役員構成 現在4名

子ども会役員OB有志が在籍～

「子どもたちのために出来る範囲で

出来る人が出来ることを無理はしないで」

持ちつ持たれつをモットーに活動しています

（有志のお子さんは成人。6年目の方など）。

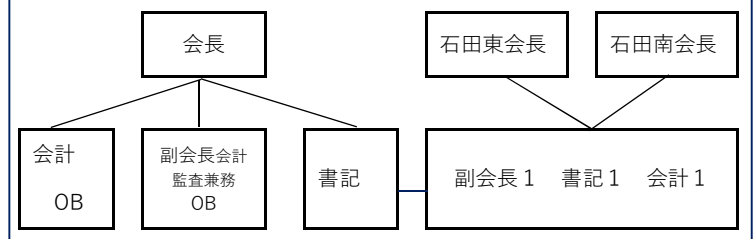
▶メリット：・年数回の単発業務

状況確認会（年3、4回）を含め大きな負担を感じることはない。

・年間の流れを理解しているので活動がスムーズ。・小学生や地域の方、社会との交流を楽しめる。

▶デメリット：子どもたちの顔が分からない。石子連の存在が希薄（石子連主催活動がないので仕方ないが）。

【令和3年度石子連組織図】



～今後の課題と希望～ 単子の石田南と石田東は合同で活動し外部団体にも依頼しながら年間運営をしていますが、少子化に加え、単子、石子連役員選出という課題は毎年重くなっています。役員を引き受けることは家族の理解や協力も必要です。今後の子ども会運営を考えたとき、少しでも小学生以下のお子さんの保護者の負担軽減になるのであれば、経験値のある子ども会役員OBが役員選出の頭数になればいいな…、「役員継続は難しいけれど支援協力は可能」「今年は難しいけど来年は役員できるよ」とか「やります♪」と気軽に引き受けてくださるOBが増える環境が出来ればいいな…という希望もこめて石子連役員を続けてさせていただいています。